

NEWS INDEX



◀BCG 保険グループ日本リー ■ジェイアイ傷害火災 ダイレクト火災保険「iehoいえほ」(2面)
ダーの佐々木氏に聞く (3面)
デジタル化で ■ソニックジャパン 第13回コンファレンス開催 (7面)
企業変革を ■2018年5月の主な動き (10~12面)



日刊(但土曜 日曜 祝日休刊)
定価1カ月4,115円(送料+税込み)

発行所
●●●● 保険毎日新聞社
東京都千代田区岩本町1丁目4番7号
〒101-0032
電話 03(3865)1401(代表)
掲載 00140-6-70860
© 保険毎日新聞社

損保も生保も
国内も海外も
保険調査は
損害保険リサーチへ



信頼のベストパートナー
「損害保険リサーチ」

〒112-0004 東京都文京区後楽7-17-27
TEL 03(5842)3700
http://www.sonpor.co.jp/

明治安田生命
イーデザイン損保
自動車保険取扱へ

10月1日始期分から

明治安田生命は5月31日、東京海上グループのイーデザイン損保と損害保険販売に係る委託契約を締結したと発表した。これにより、同社はイーデザイン損保の代理店としてイーデザイン損保の自動車保険の取り扱いを開始する。7月下旬以降順次、案内・手続きを始め、10月1日始期分から取り扱いを開始する。なお、同社でのそんぽ24商品の取り扱いには、9

障害者の総合補償発売

日常生活のトラブルに対応

(一社)全国地域生活支援機構



「わたしのお守り総合補償制度」
障害者生活支援機構が提供する「わたしのお守り総合補償制度」のイメージ写真。

(一社)全国地域生活支援機構(JLSA、東京都新宿区)は、主に障害者(全国に約77万人)が巻き込まれがちなトラブルに対応する保険の個人会員向け販売を6月1日に開始した。引き受けを行うのは損保ジャパン日本興亜で、名称は「わたしのお守り総合補償制度」。写真はパンフレット。商品の設計を主導したJLSAの金原和也代表理事は「同種の保険の販売は大手損保では初めて。これまで、知的障害者の施設入所者を対象とした補償はあったが、日常生活のトラブルの賠償責任、弁護士相談費用や弁護士委任費用を補償できる内容には画期的。高齢者にも対応でき、ニーズは大きい」と話している。損保ジャパン日本興亜では、同商品により介護・福祉分野でのポジショニングも目指したい考えだ。

損保ジャパン日本興亜が大手で初

同商品は、個人賠償責任補償(3億円限度・示談交渉付)・弁護士費用補償・相談費用・委任費用)・「けがの補償」といった3大特徴があり、健康・医療・介護・育児などの電話相談「アシスタントダイヤル」を家族も無料で利用できる。個人賠償責任については、障害者が施設利用中などにバニックを起し、けがを被った場合、今年4月には障害者総合支援法が改正されるなど、国や自治体も

(法定監督義務者)に法的な賠償責任が生じた場合にも補償される。けがの補償は、地震・噴火・津波が原因の場合も対象となる。また、訪問販売や特殊詐欺の被害、不当労働・不当解雇、遺産相続問題などに直面した場合、損保ジャパン日本興亜が日弁連リガル・アクセス・センタを通じて弁護士を紹介し、弁護士相談費用や弁護士委任費用を補償する。

同商品は、全国地域生活支援機構の会員になって加入する団体保険のため団体割引が適用される。現在は、専任代理店の(株)グリップ(東京都新宿区)が同商品を取り扱っている。「けがの補償」は、死亡・後遺障害100万円、入院日額2000円、外来手術1万円、入院中の手術2万円、通院日額1000円。「弁護士費用補償(相談費用、委任費

用)」については4プランに設けられており、「被害者人格権侵害、労働、離婚調停、遺産分割調停、借地・借家」の全てに対応するAプラン、「被害者人格権侵害、労働」の3種類に対応するBプラン、「被害者人格権侵害、遺産分割調停、借地・借家」に対応するCプラン、「被害者人格権侵害」がある。掛金は、制度運営費(入会金500円と年会費2040円)および保険料で構成されており、年間掛金額は、プランによって1万円~10万円3600円まで。同商品は、監督責任者

「ちよいのり保険(1日自動車保険)」

コンビニ店頭端末で販売

東京海上日動は5月30日、コンビニエンスストアの店頭マルチメディア端末で「ちよいのり保険(1日自動車保険)」を販売開始した。ローン

東京海上日動

「ちよいのり保険」は、親や友人等の車を借りて運転中の事故を補償する自動車保険で、必要に応じて必要最低日数だけ加入することができ、2012年1月の販売開始以降、コンビニ店頭での販売は東京海上日動として初めての取り組みとなる。「ちよいのり保険」は、車両補償ありプラン

で保険料を支払うと手続きが完了する。東京海上日動はこれまで、ローンとミニストップの各店頭端末で、バイク向け自賠責保険や自転車保険、ゴルフ保険を販売してきた。今回販売を開始する「ちよいのり保険」は、親や友人等の車を借りて

運転中の事故を補償する自動車保険で、必要に応じて必要最低日数だけ加入することができ、2012年1月の販売開始以降、コンビニ店頭での販売は東京海上日動として初めての取り組みとなる。「ちよいのり保険」は、車両補償ありプラン

(スタンダード)の場合、1日当たり保険料は1500円。対人・対物の賠償責任の他、自身や同乗者の傷害、借用自動車の復旧費用を補償する。車両搬送費用補償などロードアシストも備え、1日当たり保険料1800円の車両補償ありプラン(プレミアム)な

ら、弁護士費用特約も付く。東京海上日動では、ローンの約1万3000円店舗(ミニストップの2474店舗(いずれも18年4月末時点)のネットワークを活用することで、無保険運転事故のさらなる軽減に貢献したいとしている。

個人ユーザー様向け
保毎電子版
ハンディ
スマートデバイス専用
購読料1,728円/月(税込)
お申し込みは保毎ウェブ <http://www.homai.co.jp/> ●●●● 保険毎日新聞社

